

---

# 平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの 事業報告

---

## はじめに

平成 30 年度は、「第 2 次中長期計画・後期計画」の最終年度に当たり、この計画に基づき、高齢者の能力と希望に応じて、臨時的・短期的な就業を組織的に提供し、生きがいの充実、健康維持、社会参加の場として、当センターの事業運営に努めてまいりました。

特に、少子高齢化が急速に進展している中、請負・受託事業とともにシルバー派遣事業の一層の拡充が求められており、就業機会の拡大に向けて積極的な事業展開を図りました。

しかし、センター事業の契約金額につきましては、公共事業の受注が縮小・減少の影響を受け昨年度実績を大幅に下回りました。

一方、会員数につきましては、昨年 6 月を底に微増傾向にあります。

今後も、センターの魅力を高め、多様なニーズに対応する事業展開が急務となっています。

以下、平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの具体的な事業・活動につきまして報告いたします。

## 平成 30 年度の具体的な事業運営・活動の取り組み

当センターは、シルバー人材センターの「自主・自立」「共働・共助」の理念に基づき、60 歳以上の高齢者に対し、臨時的かつ短期的または簡易な業務に係る就業の機会を提供し、働くことによる生きがいや活力ある地域社会づくりに貢献します。

### 1. 「第 2 次中長期計画・後期計画」を推進しました。

- ① 平成 30 年度の数値目標の達成に向けて、適正なセンター事業・運営を積極的に取り組みました。

平成 30 年度数値目標			
	数値目標	事業実績	達成率
会員数	755 人	669 人	88.6%
(女性比率)	(30.0%)	(28.7%)	95.7%
契約金額	30,500 万円	27,994 万円	91.8%
年間就業率	80.0%	85.7%	107.1%

- ② 会員数は、平成 30 年 6 月末の 624 人を底に緩やかな増加傾向に転じ、平成

31年3月31日現在では669人となり、昨年度の会員数665人を若干上回りましたが、会員数数値目標の達成率は、88.6%となっています。

- ③ 契約金額は、公共事業では「Lホール施設管理業務」「いきいきセンター」の指定管理業務及び「剪定枝チップ化リサイクル事業」などの委託契約終了などの影響があり、契約金額総額は27,994万円、目標達成率91.8%の実績となりました。一方、年間就業率は85.7%となっています。
- ④ また、受託件数5,792件（月平均483件）、延日人員62,189人員（月平均5,182人員）、実人員573人の実績となっています。
- ⑤ 公共事業の委託業務単価の引上げについては、国分寺市の担当課と協議いたしましたが、市の財政事情により昨年と同額の932円に据え置かれました。民間事業の配分金については、発注者等の理解を得ながら東京都最低賃金958円を基本に引上げました。

## 2. 会員の拡大と就業機会の確保、契約金額及び就業率の向上に努めました。

- ① ホームページを魅力ある内容に充実し、センターの最新情報を提供・開示し、会員拡大及び就業開拓に取り組みました。
- ② 会員の入会説明会は、事業委員会の理事が担当し、福祉センターで年12回、市内の施設で9回の合計21回開催し、新たに年間で87人が入会しました。（年間退会会員数：83人）
- ③ 会員一人ひとりが新規会員を紹介する「会員増強運動」を、地域班会議等で周知し、平成30年10月から12月までセンター全体で取り組み、4名の加入がありました。
- ④ 事業委員会及び事務局職員を中心に事業所訪問を実施し、幅広く請負事業及び派遣事業の就業開拓に取り組みました。さらに、事業委員会では、会員拡大及び就業開拓を先駆的に取り組んでいる府中市シルバー人材センターを視察訪問し、情報交換を行いました。
- ⑤ 公共の施設管理では、全会員を対象に平成30年10月1日からの就業希望会員を募り、就業基準の適正な運用と公平な就業機会の提供に努めましたが、今年度も就業会員の確保が困難な状況が継続しています。
- ⑥ また、長期就業している就業場所では、就業会員の理解を得ながら、ローテーション就業を推進し、より多くの会員に就業機会を拡大しました。さらに、今年度は10月に就業した会員を対象に、「就業会員アンケート」を実施し、就業意識やセンター事業への評価等を調査しました。
- ⑦ 未就業会員を対象に、第2金曜日に就業相談会の実施及び就業情報を提供することにより、就業機会の提供・拡大に努めました。

- ⑧ 会員相互の交流を図るため、平成 30 年 10 月 5 日に第 4 回「シルバーあおぞら教室『歩いてゼミナール』」（深大寺と神代植物公園ばら園めぐり）を実施しました。

### 3. シルバー事業についての普及、宣伝活動を推進しました。

- ① 会報「いきがい」第 138 号を 8 月、第 139 号を 1 月に 2 回発行し、会員相互の連帯意識を高め合い、さらに、センター事業の内容紹介など情報提供・周知に努めました。
- ② さらに、会員へ情報発信する「センター便り」も、第 14 号を 4 月、第 15 号を 10 月に 2 回発行しました。
- ③ 一般家庭、事業所、官公庁等に、センター事業のチラシ・ポスター及び会員募集チラシを配布し、受注拡大と会員の加入促進に取り組みました。また、新たに「国分寺市自治会・町内会回覧板」に当センターの広告を掲載しました。
- ④ 市報等を活用して入会説明会の案内や、広報強調月間では、10 月 1 日号市報にセンター事業の情報提供など、市民への広報・宣伝活動に取り組みました。
- ⑤ 役職員を中心に、平成 30 年 11 月 4 日の国分寺まつり会場や、国分寺駅南北通路で平成 30 年 10 月 19 日と平成 31 年 3 月 18 日の 2 回の駅頭宣伝を実施し、センター事業等の PR 活動を実施しました。
- ⑥ 平成 31 年 1 月 29 日から 31 日までリオンホールでシルバーフェスティバルを開催し、センター事業の PR 活動及び就業相談を実施しました。さらに、福祉センターまつり（4/7）、こくぶんじ市民活動フェスティバル（4/14）に参加の準備を進めています。

### 4. 会員の就業意識の向上に努め、接遇などの研修を実施しました。

- ① 就業に関する知識及び技能を向上させるため、財団（連合）が開催する役職員及び会員を対象とする研修会・講習会に積極的に参加しました。また、平成 30 年 9 月 28 日に開催された、平成 30 年度シルバー人材センター安全大会では、「安全就業優良シルバー人材センター」として、当センターが表彰されました。
- ② 財団が主催する就業支援講習を積極的に活用して、植木班の後継者と家事援助サービス就業会員を育成しました。
- ③ 指定管理者業務及び施設管理業務では、就業会員の接遇など質の高いサービスが求められるため、当センター独自の接遇研修を平成 30 年 12 月 6 日と 7 日に実施するとともに、財団のクレーム対応研修等の研修に参加しました。
- ④ また、AED（自動体外式除細動器）講習は平成 30 年 11 月 20 日に実施し、交通安全講座は平成 30 年 12 月 21 日の第 2 回地域班長会議で、「いきいき運転

講座」を開催しました。

- ⑤ 地域班会議は、11 地区で平成 30 年 9 月 26 日から 11 月 20 日まで開催され、参加会員数は 159 人、出席率 25.1%で、会員同士の交流とシルバー事業についての理解を深めました。
- ⑥ 地域班長会議では、センター事業の進捗状況等の周知を図り、平成 30 年 7 月 27 日の第 1 回地域班長会議では「安全就業研修」、12 月 21 日の第 2 回会議では「交通安全研修」を実施しました。
- ⑦ 職域班会議は、植木班・除草班・施設管理などの仕事別グループを含め、延べ 37 回開催しました。
- ⑧ 会員及び役職員には、再度「シルバー人材センター安全就業ガイドライン」を周知し、センター事業を適正・適法に運営していくためのコンプライアンス（法令遵守）を意識していただき、資質の向上に努めました。

## 5. 事故「ゼロ」を目標に、安全就業対策と健康管理に努めました。

- ① 毎月第 3 水曜日を「安全の日」と定め、安全巡回指導を合計 12 回実施し、就業会員に「安全点検チェックリスト」による聞き取り調査を実施し、安全就業及び事故「ゼロ」の取り組みを推進しました。また、就業中の傷害事故に関する「傷害事故情報」を第 3 号まで発行し、就業中の全会員に事故「ゼロ」の啓発を行いました。
- ② 安全管理委員会では、平成 30 年度安全管理活動計画に基づき安全就業及び事故防止に向けた取り組みを推進しました。また、平成 31 年度から平成 35 年度までの 5 年間の「第 3 次安全対策基本計画」を策定しました。さらに、「安全だより」を平成 30 年 7 月 15 日に、「安全推進だより」を 12 月 15 日に発行し、安全就業及び事故防止の徹底に努めました。
- ③ 「安全はすべてに優先する」を基本に、入会説明会や新しく就業する会員に対して「安全就業基準」及び「安全心得 10 ヶ条」の周知及び徹底を図りました。また、第 6 ブロック安全就業推進員会議が新たに作成した「安全申し合わせ事項」の掲示板を事務所横に掲示しました。
- ④ 平成 31 年度の「安全標語」について、財団は「作業方法・手順の確認とルールの順守徹底」、センターは「自転車事故防止について」を標語テーマと設定して 1 月に募集を行いました。各標語にはそれぞれ 31 点の応募があり、標語ごとに 3 点の優秀作品を選定しました。
- ⑤ 7 月の「安全就業強調月間」では、平成 30 年 7 月 4 日と 25 日に理事による特別安全巡回を実施し、全会員に安全就業について啓発活動を実施しました。
- ⑥ 土日・祝日などのセンター事務所閉鎖時の緊急・事故対応として、会報等で、緊急時連絡網（コールセンター：04-2929-8282）の周知を図りました。

- ⑦ 平成 31 年 3 月 1 日には、市高齢福祉課と地域包括センターなどの協力を得て、「体力測定・介護予防教室」を開催し、20 名の会員が参加しました。

## 6. 福祉・家事援助サービス・子育て支援サービスを推進しました。

- ① 財団等が主催する福祉・家事援助サービス及び子育て支援サービスについての講習会及び普及啓発活動を実施しました。この講習会及び普及啓発活動を実施することで、女性会員の加入促進を図りました。
- ② 国分寺市から受託している「介護予防・日常生活支援総合事業 B 型事業」は、受託開始から 2 年目を迎えました。就業会員を対象に、平成 31 年 1 月 18 日に接遇研修を実施しました。

## 7. 保育補助分野などのシルバー派遣事業に取り組みました。

- ① 従来の請負・委託事業になじまない高齢者の多様な就業機会の確保及び拡大に向けて、公益財団法人東京しごと財団国分寺派遣事業所としてシルバー派遣事業を実施しました。特に、保育補助分野での高齢者の就業を推進するため、保育補助・調理補助希望会員説明会を平成 30 年 9 月 13 日に実施し、シルバー派遣に積極的に取り組みました。
- ② 今回新たにスーパーマーケットから、惣菜等の加工業務に関して依頼があり、現在就業できる派遣会員を募集しています。
- ③ 今年度、セミナーの受付業務などの新規単発の業務開拓を図り、就業場所の拡大に努めました。
- ④ また、第 6 ブロック職員連絡会等で、先進センター等の状況や労働関係法令等の情報収集に努めました。

## 8. 会員を対象とした実態調査アンケートを実施しました。

- ① 6 月に、公平な就業機会の提供を行うため「会員状況調査」を実施しました。対象会員は 664 人で、回答数 581 人、回答率は 87.5%、センターで就業中の会員は 63.4%、センターで働きたい会員は 10.2%という結果でした。また、未就業会員に就業情報を電話等で提供しました。
- ② 10 月に、就業会員に対して「就業会員アンケート」を実施し、就業会員の意識や就業実態を把握しました。対象就業会員は 465 人で、回答数 286 人、回答率は 61.5%でした。就業会員の 97.2%から、就業することで社会に貢献していると回答をいただきました。この調査結果は、ホームページに掲載しました。

## 9. ボランティア活動を実施しました。

- ① 会員としての誇りを持つとともに、地域社会への貢献活動として、平成 30 年 11 月 5 日に総勢 18 人で、国分寺まつりボランティア清掃を実施し、センターのボランティア活動を広く市民にアピールしました。

- ② 市報配布会員による「空き家情報」をボランティアで実施し、今年度は56件の空き家情報を市に提供しました。また、来年度から、市報会員に「見守りパトロール」ベストを配布し、市報配布時に着用をお願いしています。
- ③ 地域での高齢者の見守りや高齢者福祉施設等の慰問・児童下校時安全パトロールなど福祉活動を支援しました。

#### 10. センター事業の適正な事業運営・経営に努めました。

- ① 理事及び職員は、センター事業の適正な運営・経営に努め、会員の生きがいの充実を図りました。さらに、センター事業の重要な案件を審議・決定する理事会を活性化させ、総務・事業・安全管理の各委員会活動の強化を図りました。今後も、安定した事業運営を継続していくために職場環境の整備・充実に努め、さらに財政基盤の強化を図ります。
  - ㊦ 第8回定時総会は6月20日に開催し、平成29年度監査報告、平成29年度事業報告及び決算、理事の選任の提出議案すべてが、可決承認されました。
  - ㊧ 総務委員会は10回開催し、会報の発行・講演会等の企画などを協議し、センターから会員への情報提供を行いました。
  - ㊨ 事業委員会は9回開催し、入会説明会を担当し、入会説明会パワーポイントをリニューアルし、さらに、会員増強運動やシルバーフェスティバルの開催、府中市SCへの視察等を協議し、事業PR活動に取り組みました。
  - ㊩ 安全管理委員会は、安全管理委員と安全支援員が順番で「安全の日」巡回指導を計13回実施し、安全就業・適正就業を推進しました。
- ② 配分金単価については、原則東京都最低賃金を参考にし、市に対して委託単価改定を協議しましたが、市の財政事情から平成30年度は据え置きとなりました。平成31年度の委託契約単価は、最低額が958円、事務費率が6%となる予定です。
- ③ 定款第24条（理事の職務及び権限）に規定されている会長、副会長及び常務理事の自己の職務の執行の状況を、平成30年度第7回理事会（開催日：平成30年10月26日）と第12回理事会（開催日：平成31年3月22日）で報告しました。

# 監査報告書

平成31年4月24日

公益社団法人国分寺市シルバー人材センター  
会長 野々村 和 幸 殿

公益社団法人国分寺市シルバー人材センター  
監事 永山 百合子 印  
監事 川野 智子 印

私達は、公益社団法人国分寺市シルバー人材センターの平成30年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法の概要

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査報告

一 公益社団法人国分寺市シルバー人材センターの平成30年度の事業報告は、法令もしくは定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及び附属明細書並びに財産目録の監査結果

公益社団法人国分寺市シルバー人材センターの平成30年度の計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上